

日本労働年鑑 1951年版(第23集)  
The Labour Year Book of Japan 1951

第二部 労働運動

第二編 労働組合運動

第七章 主要な労働組合の現状

全日本金属鉱山労働組合連合会

全日本金属鉱山労働組合連合会(全鉱連)  
(The Federation of the All-Japan Metal Mine Labour Unions:F.M.L.)

◇結成 一九四七年二月二〇日

◇所在地 東京都港区三田功運町 電話三田(45)四六三八

◇組織(労働省調)

北海道地方連合会 三九 四、八一四 札幌市南一条西三丁目

奥羽地方連合会 二六 一五、八三七 秋田県秋田郡

東北地方連合会 二一 四、六九七 宮城県栗原郡

関東信越地方連合会 二六 一三、二一五 茨城県日立市宮田三五八五

東海北陸地方連合会 一九 九、二二一 岐阜県吉城郡船津町大字鹿間

東京地方連合会 一四 二、〇〇二 中央区日本橋三越ビル日鉱本社内

近畿中国地方連合会 三〇 一六、〇八三 岡山県糸郡吉岡村

四国地方連合会 八 八、三四二 愛媛県新井浜市

九州地方連合会 一五 七、三二〇 大分県北海部郡佐賀関町

総計 一九八 八一、五三一

◇役員

中央執行委員長 原口幸隆(別子)

副中央執行委員長 神長一毛(日立)

同 鈴木 勇(新下川)

書記長 大石健雄(上北)

◇機関紙「ゼンコウ」

機関誌「鉱山労働者」

◇全鉱連は金属鉱山労組の唯一の全国組織であり、かつ労働戦線に於ても有力な中立組合であったが四九年七月末の第一一回臨時全国大会に於て全労連の脱退を決め、更に国際自由労連にも加盟して原口委員長を日本代表の一員としてロンドン大会に派遣した。

日本労働年鑑 第23集／1951年版

発行 1951年1月1日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年2月15日公開開始

